

TOTO

便器洗浄ユニット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
--	------------------	--	---------------------

警告	
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。
	電気器具なので、絶対に水をかけない 故障・事故の原因になります。
	ACアダプターをぬれた手で触らない 感電の原因になります。

警告	
	修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理、改造は行わない 故障・感電の原因になります。
	水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームで使用しない 故障・感電の原因になります。
	ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込む 火災の原因になります。

注意	
	器具に強い力や衝撃を与えない 故障・事故の原因になります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障・事故の原因になります。
	取り付けの際は止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

同梱部品

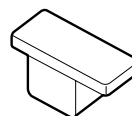
■部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器洗浄ユニット		スペーサー	
この注意書を外さないでください。		(1個)	
レバー		ピン	
(2個)		(2個)	
固定金具類		その他	
			本紙 施工説明書 (1枚)
傾斜ワッシャーA (1個)	ナット (1個)	コードフック (7個)	
傾斜ワッシャーB (1個)	ねじ (φ3×14:1本)	サンドペーパー (1枚)	

ストッパーとレバーハンドルは、既設のものを使います。捨てないでください。



ストッパー



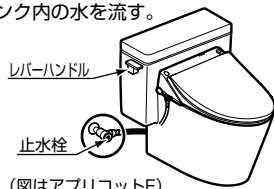
レバーハンドル

取り外し方法

手動ハンドルユニットの場合

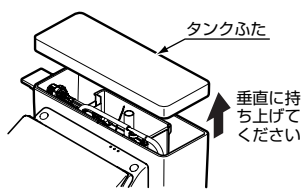
① 止水栓を閉めて、タンク内の水を抜く

- ① 止水栓を閉める。
- ② タンク内の水を流す。



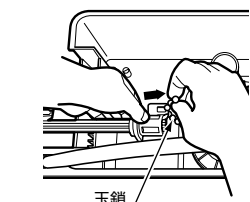
② タンクふたを取り外す

タンクふたを取り外す。

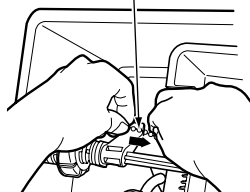


③ 玉鎖を取り外す

- ① リムタンク側（上側）の玉鎖を取り外す。
※片手で押さえながら行うとスムーズに取り外しができます。

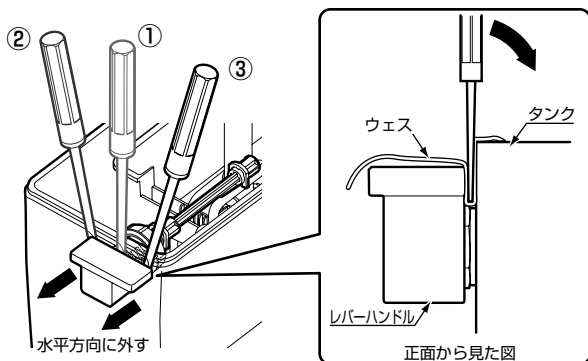


- ② ジェットタンク側（下側）の玉鎖を取り外す。
※片手で押さえながら行うとスムーズに取り外しができます。



④ レバーハンドル部を取り外す

図のように、①⇒②⇒③の順番でレバーハンドルとタンクのすき間にマイナスドライバーなどを差し込み、水平方向に押し出す。
※①～③の動作で取り外しができない場合には、再度繰り返し行ってください。



注意事項

ドライバーの先端に布（ウェス）などを巻いて作業してください。（陶器およびハンドルに傷が入るおそれがあります。）

ワンポイント

レバーハンドルは、下図の3カ所がフックになっています。



注意事項

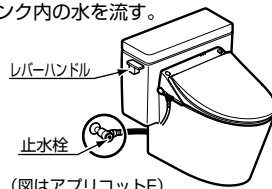
取り外しの際は、力を入れすぎないでください。（強い力を入れすぎると、破損するおそれがあります。）

裏面につづく➡

便器洗浄ユニットの場合

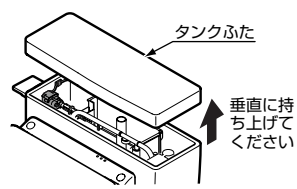
① 止水栓を閉めて、タンク内の水を抜く

- ① 止水栓を閉める。
- ② タンク内の水を流す。



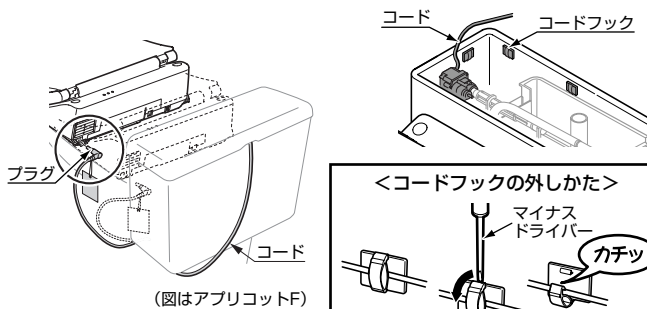
② タンクふたを取り外す

タンクふたを取り外す。



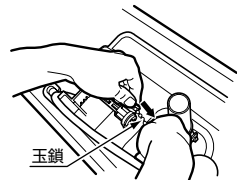
③ コードをコードフックから取り外す

プラグを引き抜き、コードフックに取り付いたコードを取り外す。

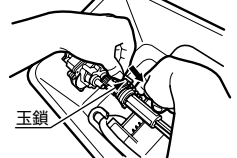


④ 玉鎖を取り外す

- ① リムタンク側（上側）の玉鎖を取り外す。
※片手で押さえながら行うとスムーズに取り外しができます。

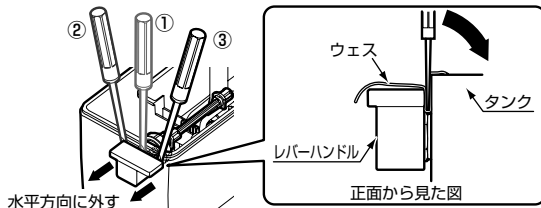


- ② ジェットタンク側（下側）の玉鎖を取り外す。
※片手で押さえながら行うとスムーズに取り外しができます。



⑤ レバーハンドル部を取り外す

図のように、①⇒②⇒③の順番でレバーハンドルとタンクのすき間にマイナスドライバーなどを差し込み、水平方向に押し出す。
※①～③の動作で取り外しができない場合には、再度繰り返し行ってください。



ワンポイント

レバーハンドルは、右図の3カ所がフックになっています。



注意事項

ドライバーの先端に布（ウェス）などを巻いて作業してください。（陶器およびハンドルに傷が入るおそれがあります。）

注意事項

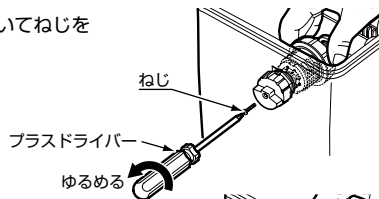
取り外しの際は、力を入れすぎないでください。（強い力を入れすぎると、破損するおそれがあります。）

裏面につづく➡

手動ハンドルユニットの場合 (つづき)

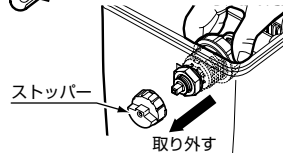
5 手動ハンドルユニットの取り外し

① プラスドライバーを用いてねじを取り外す。



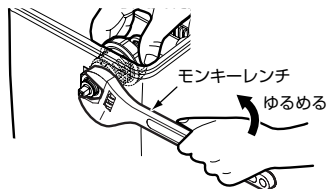
② ストッパーを取り外す。

※取り外したストッパーは、取り替え後も使うので紛失しないように注意してください。

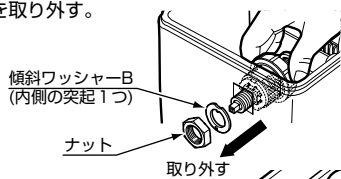


③ ナットを取り外す。

※固いので、モンキーレンチなどを用いて取り外してください。

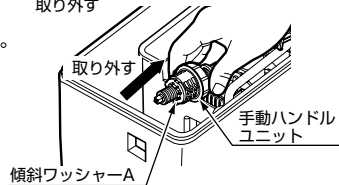


④ 傾斜ワッシャーBを取り外す。



⑤ 手動ハンドルユニットを取り外す。

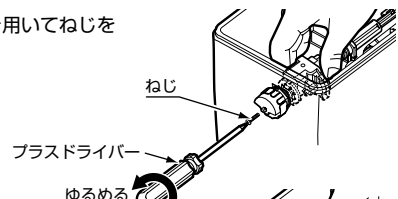
※取り外しの際は、手動ハンドルユニットについている傾斜ワッシャーAなどがタンク内に落下しないように注意してください。



便器洗浄ユニットの場合 (つづき)

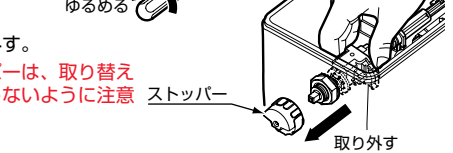
6 便器洗浄ユニットの取り外し

① プラスドライバーを用いてねじを取り外す。



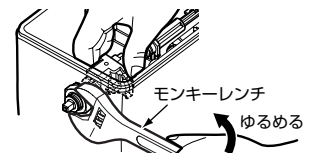
② ストッパーを取り外す。

※取り外したストッパーは、取り替え後も使うので紛失しないように注意してください。

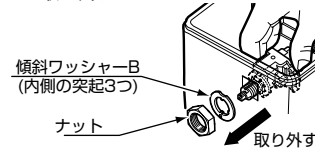


③ ナットを取り外す。

※固いので、モンキーレンチなどを用いて取り外してください。

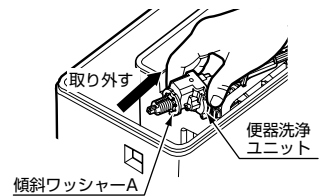


④ 傾斜ワッシャーBを取り外す。



⑤ 便器洗浄ユニットを取り外す。

※取り外しの際は、便器洗浄ユニットについている傾斜ワッシャーAなどがタンク内に落下しないように注意してください。



取付方法

1 便器洗浄ユニットの組み立て

① 便器洗浄ユニットの●印を上にして、レバー、スペーサー、レバーの順で組み立てる。

※レバーの向きに注意してください。(イラスト参照)

※スペーサーの向きは、Aが上向きになるようにセットしてください。

※スペーサーに取り付ける2つ目のレバーは、先端にそろえてセットしてください。

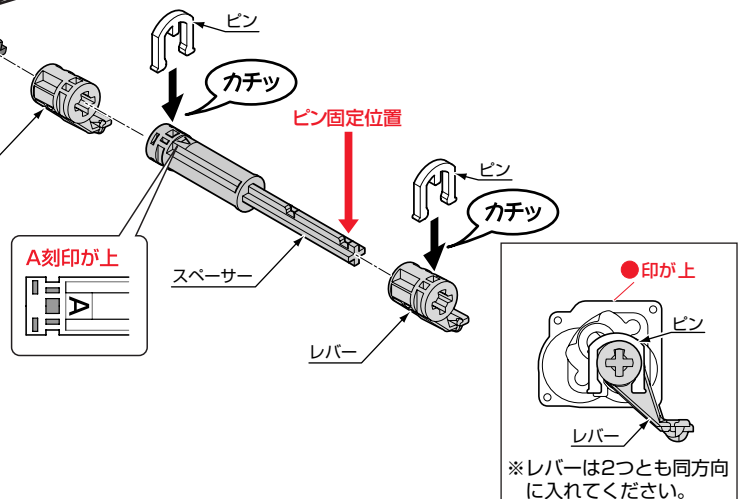
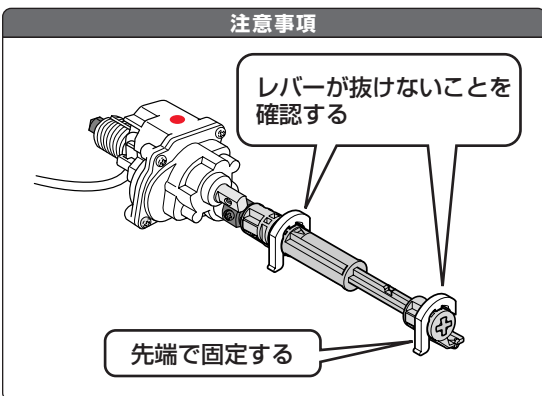
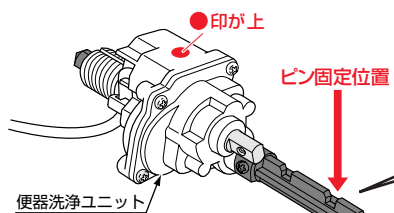
② ピンを2カ所に差し込む。(イラスト参照)

※ピンの差し込む位置は間違えないように注意してください。

※ピンをセットしたあと、レバーが抜けないことを確認してください。

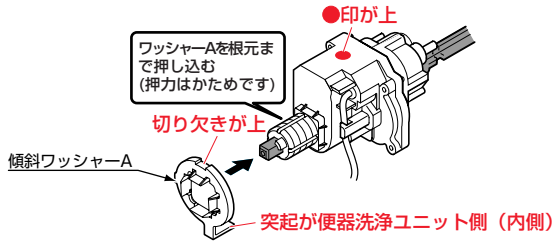
注意事項

レバーは必ず便器洗浄ユニット用をセットしてください！
(止水、洗浄不良の要因になります。)



2 便器洗浄ユニットの取り付け

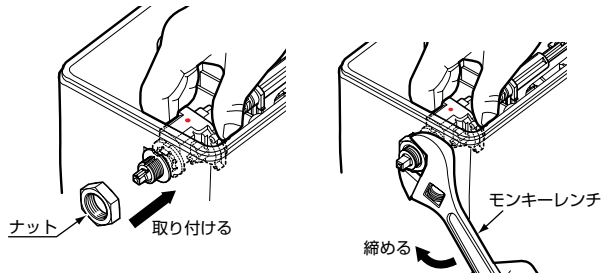
- 便器洗浄ユニットの●印を上にして、傾斜ワッシャーAをセットし、ロータンクの取付穴に差し込む。
 ※傾斜ワッシャーAは、便器洗浄ユニットの根元まで差し込んでください。
 ※傾斜ワッシャーAの向きは、切り欠きが上、突起が便器洗浄ユニット側(内側)になるようにセットしてください。



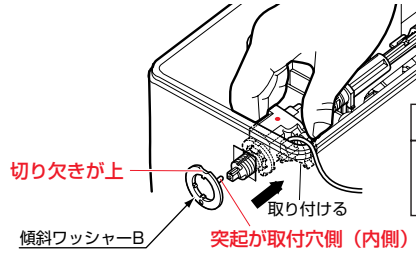
注意事項

傾斜ワッシャーA・Bとねじは、既存の古いものは使わず、同梱されている新しいものを使ってください。
 (古いものを使うとレバーハンドルがガタつくおそれがあります。)

- ナットを取り付け、モンキーレンチですき間がなくなるまでしっかり締め付ける。



- 便器洗浄ユニットに傾斜ワッシャーBをセットする。
 ※傾斜ワッシャーBの向きは、切り欠きが上になるように、また突起が取付穴になるようにセットしてください。

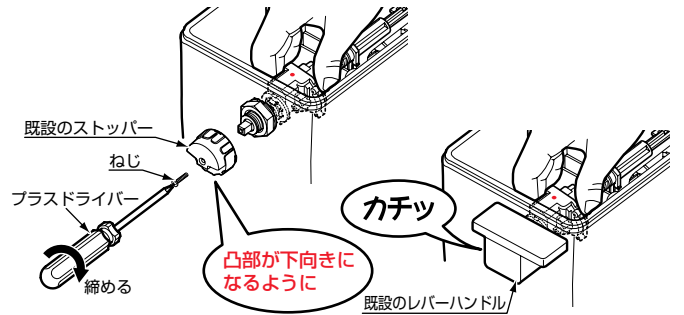


警告

コネクターを水にぬらさない
 感電や故障の原因になります。

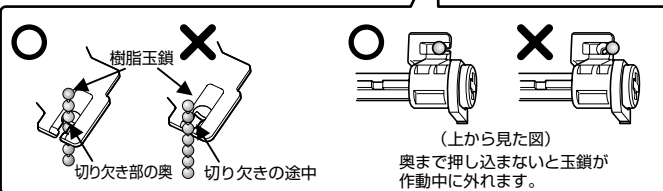
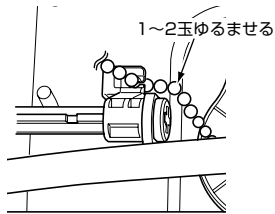
3 レバーハンドルの取り付け

- 既設のストッパーをはめ込み、ねじで固定する。
 ※ストッパーの向きは、凸部が下向きになるように取り付けてください。
 (厚みがある方が上になります)
 ※ガタツキがないようにしっかり締め付けてください。
- 既設のレバーハンドルを水平にカチッと音がするまで押し込む。
 ※タンク上面とレバーハンドルが水平になるようにしてください。



4 玉鎖の調整と取り付け

- 排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態から1~2玉ゆるませて固定する。
- 玉鎖をレバーの切り欠き部の丸い所まで確実に押し込む。
 ※奥まで押し込まないと、玉鎖が作動中に外れます。
 ※レバーに玉鎖を引っ掛ける際に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



注意事項

【玉鎖の長さ調整】

- 排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む
- 玉鎖がたるみ過ぎたり、張り過ぎたりしていないこと

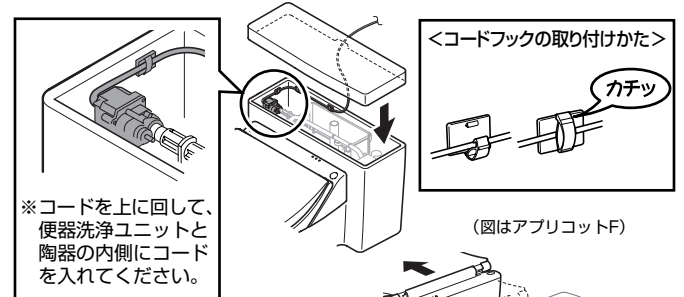


5 レバーハンドルと排水弁の作動確認

- レバーハンドルと排水弁の作動を確認する。
- レバーハンドルが正常に作動すること
 - レバーがリムタンク(上側)などに干渉しないこと

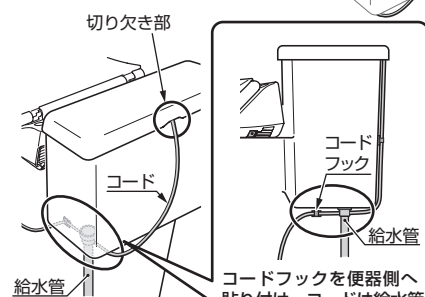
6 コードフックの取り付けとコードの配線

- コードフックを貼り付ける。
 ※水滴をふき取り、付属のサンドペーパーでこすり、水につからない位置に貼り付けてください。
- コードはふたの切り欠き部とタンクの下側を通して配線する。
 ※コードをふたでつぶさないようにしてください。



※コードを上に戻して、便器洗浄ユニットと陶器の内側にコードを入れてください。

コードの長さは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



コードフックを便器側へ貼り付け、コードは給水管の内側を通してください。